

大阪市教育振興基本計画 「安心・安全な教育の推進」「未来を切り開く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」

校訓 よく学び 仲よく 元気に

学校教育目標 《学ぶことに喜びを持ち 心豊かな たくましい 子どもを育てる》

めざす子ども像(生きる力の育成)

【考えて行動する子】<知>

- ・正しく判断し、行動する子を育てる。
 - ・主体的・対話的に、協働して学ぶ子を育てる。
- 確かな学力 —

【違いを認め合う子】<徳>

- ・人権を尊重し、正義感・公正さを重んじる子を育てる。
 - ・豊かな人間性・社会性、他者を思いやる心を育てる。
- 豊かな人間性 —

【命を大切にしている子】<体>

- ・生命を尊重し、健康で逞しい体や心を持つ子を育てる。
 - ・自然や美しいものに感動する心を育てる。
- 健康と体力 —

身につけさせたい力

な かまと協働して、主体的に学ぶ力

- ・図画工作科の学習や日々の教育活動において、児童が興味を持ち、見通しをもって粘り強く取り組む主体性を育むと共に、他者と意見を折り合わせ協働しながら課題を解決する力を育む。

が んばりぬく、たくましい心と体力

- ・家庭と連携し生活習慣や運動習慣の啓発に取り組み、食育や体育科の指導法の充実を図る。
- ・休み時間や運動週間の取り組みを工夫し、多様な運動を楽しむ場や機会を創出する。

よ く学び、確かな学力を体得する力

- ・学力向上の取り組みとして、学習の基礎・基本の定着を図ると共に、学校がチームとして指導法の工夫や研修を充実等して個に応じた指導の充実を図ることで、個別最適な学びを実現する。

し こう(思考)し判断し、行動する力

- ・日々の教育活動で、教師が教えるだけではなく「問いかける」ことで、自身で考える力を育てる。
- ・ポジティブな行動支援により、好ましい行動を自身で考え、実践できる取り組みを推進する。

で 会いを大切に、違いを認め合う力

- ・「自分と他者の大切さを認める」感覚を育み、差別やいじめを絶対に許さない人権感覚に基づき態度や行動(実践)力を育成し、インクルーシブ教育や同和教育、多文化共生教育等を推進する。

と もに、心豊かに命を大切にする力

- ・道徳や特別活動の重点化。対話的学習や体験学習、学校行事の充実に取り組む。
- ・学年に応じて命の大切さについて学ぶため、外部講師を招く等して、命の授業を設定する。

めざす学校像

児童が学ぶ喜びを実感し、安心して過ごせる学校・・・協働的な学びと個別最適な学びの充実 → 「児童が通いたい学校」
 学校が核となって、家庭や地域と連携できる学校・・・情報発信と教育コミュニティの構築 → 「保護者や地域が通わせたい学校」
 教員がしっかり児童と向き合うことのできる学校・・・働き方改革の推進・働きやすい環境の実現 → 「教職員が働きたい学校」